

平成28年度 二松学舎大学SRF公開講座

二松学舎大学私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(略称:SRF)が開講する特別講座は、日本漢学又は漢文文献の研究に関心を持つ若手研究者を育成する講座です。受講対象者は、高等学校の教員および学内外の大学院生及び院生と同等の知識を有する若者を主とし、他に一般社会人等にも、講義を通じて必要な知識を身につけていただくことを目的としています。

◆受講料：無料 ◆対象者：高等学校教員、院生・学生および一般の方 ◆会場：本学九段校舎4号館

◆応募締切等：定員になり次第、募集を終了します。

◆お申込み・お問い合わせ先：二松学舎大学東アジア学術総合研究所 SRF事務局 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-4-14
Tel: 03-3261-3535 Fax: 03-3261-3536 e-mail: kiban@nishogakusha-u.ac.jp URL: <http://www.nishogakusha-u.ac.jp/eastasia/>

※ 受講の可否については、ハガキにてお知らせいたします。

| 講座名 | 内容 | 講師 | 所属 | 曜日・時間等 | 募集人員 |
|--------------------|--|-------|----------------|--------|----------------|
| 特別講座 1 幕末・明治の漢詩 | 19世紀、江戸の年号では文化・文政以降、漢詩はますます活況を呈し、江戸を始め各地に詩社が起こり、詩の裾野は広がった。詩風も唐から宋へ、また幕末には清朝の詩が好まれるということで、専門詩人のみならず、大名から庶民まで、多くの詩が残されている。その幾つかを選び、鑑賞を試みたいと思う。 | 石川 忠久 | 学校法人二松学舎 顧問 | 土曜日 | 募集を締め 切りました |
| 2 幕末・明治の漢文 | 幕末から明治初期にかけて、塾や寺子屋などで漢文の読み書きを学ぶ漢文教育が隆盛を極めた。教材は中国の古典が中心ではあったが、日本人の作品も多く取り上げられ、人々に愛読された。今回は、21世紀COEプログラムで編集した『二松漢文 日本漢文』をテキストとして、日本人の漢文作品を読む。 | 佐藤 保 | 学校法人二松学舎 顧問 | 土曜日 | 募集を締め 切りました |

開講時期 平成28年10月～平成29年2月の土曜日 毎月1回

幕末・明治の漢詩:10/1 ・ 11/5 ・ 12/10 ・ 1/21 ・ 2/4 4時限 14:50～16:20

幕末・明治の漢文:10/1 ・ 11/5 ・ 12/10 ・ 1/21 ・ 2/4 3時限 13:00～14:30